

ぎょうだ電子図書館 おすすめ本

- 3分後にゾットする話-47都道府県の怖い話-1 電子版 並木伸一郎 / 著
満天in サマラファーム 長谷川まりる / 作
ほねほねザウルス カバヤ食品株式会社 / 編集
命を守る、救える！ 応急手当 (イラスト図解) 事典 横田裕行 / 監修



今月のおすすめDVD・CD

- <DVD>
人間の翼
スーパー狂言「ムツゴロウ」
メロディ・タイム
パリの家族たち
<CD>
オーロラのささやき ペルッティ・ペッカネン 他 / 指揮
カフェ・ナポレターナ ナポリ・マンドリン・オーケストラ / 演奏
童謡ベストコレクション 春夏 由紀さおり / 歌

大人のためのミニ朗読会(若葉)

- 日時 5月12日(日)午後1時30分~2時30分(午後1時開場)
場所 中央公民館第1学習室
内容 「天に遊ぶ」より「同居」吉村昭 / 著 新潮文庫
「九十歳。何がめでたい」より「一徳論評時代」佐藤愛子 / 著 小学館 他2作品
定員 70人(先着順)
協力 行田朗読の会

雨天時に本を借りる・返却する際のお願い

雨天時に本を借りる・返却する際は、マイバッグまたはビニール袋などに入れて、本が濡れないようにしてください。借りた本を雨や飲み物で濡らしたり、破いてしまった場合は、返却する際に必ずカウンターまで申し出てください。職員が資料状態を確認し、図書館で修理するか弁償していただくか判断します。本は、多くの皆さんにお貸ししている公共の財産です。大切に扱いましょう。

来て！見て！ 図書館

開館時間 午前9時~午後7時
休館日 5月 1日(水)・7日(火)・13日(月)・20日(月)・27日(月)・31日(金)
6月 3日(月)・10日(月)

※休館日の図書の返却はブックポストをご利用ください。

市立図書館 佐間3-24-7(「みらい」内)
TEL:556-4227
FAX:555-3770



埼玉県高等学校総合文化祭高校写真展で優秀賞を受賞し、全国高等学校総合文化祭写真部門に県代表として出展

根岸 ななみさん(棚田町・16歳)

今月は昨年11月に行われた第40回埼玉県高等学校総合文化祭高校写真展で優秀賞を受賞し、今年8月に開催される第48回全国高等学校総合文化祭(文化部のインターハイ)写真部門に県代表として出展する県立進修館高等学校2年生の根岸ななみさんを紹介します。

育祭や文化祭は自分のクラスの競技や出し物の合間に撮影するため、当日は少し忙しいですが、撮った写真が学校のホームページなどで掲載されるのでやりがいがあります」と話す根岸さん。文化祭では、部員がこれまで撮影した写真を教室に飾り、良い作品に投票してもらおうとし物を写真部で企画したそう、「先輩たちが票が集まる中、私の写真にも票が入りうれしかったです」と笑顔で話してくれました。

第40回埼玉県高等学校総合文化祭高校写真展で応募した写真は昨年8月に写真部の撮影会で訪れた神奈川県鎌倉市での一枚でした。撮影の技術はいとこや顧問の先生から教わっています。特に「多く撮る」ことを意識したそうです。「先生から受賞の話を聞いたときはうれしさよりも驚きの方が勝りました」と当時の心境を語ります。根岸さんの作品は、この写真展の後に開かれた選考会で、約2千点を超える作品の中から上位10作品に選ばれ、本年8月に岐阜県で開催される第48回全国高等学校総合文化祭写真部門に県代表として出展されます。

今後について、「これからも学業と部活と両立しながら、インターハイでは良い成績を残せるように頑張ります」と意気込む根岸さん。本格的にカメラを始めてわずか1年で県代表として出展する根岸さんのより一層の成長と活躍が期待されます。

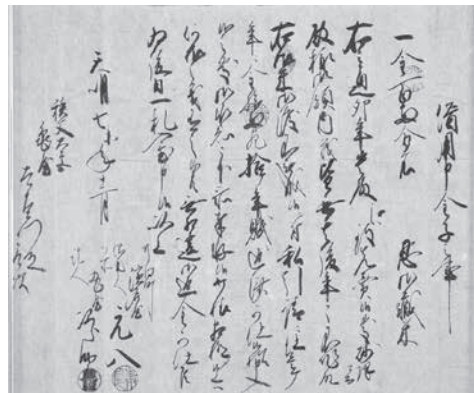


行田歴史系 362

資料がかたる行田の歴史 62

忍米のお味はいかが? ~江戸時代の忍藩年貢米のゆくえ~

江戸時代、村々で収穫されたお米のうち、約半分は現代の租税に当たる年貢米として領主に納められました。うち実際に領主が食べる御飯米を除いた分については、江戸や行田周辺などで売却され、市場で取引されました。特に忍藩の年貢米は市場では「忍米」と呼ばれていました。



「忍蔵米代金借用証文」(個人蔵・郷土博物館寄託)

で領内のほとんどが不作になってしまいました。年貢米を未だお渡しすることができないので、その代金を10年賦で返金させてください」と書かれています。本文中の「砂降」とは天明3(1783)年5~8月に起こった浅間山の大噴火のことです。噴火は広範囲にわたり農作物の生育に大きな影響を及ぼす火山灰を降らせました。忍藩領も例外ではなく、噴火以後は不作が続きました。

古文書の内容によると、年貢米は浜名屋元八によって金200両で先売りされていたとあります。年貢米という毎年安定して集積される米穀は、商人にとって先売りが可能な取引商品でもあったことが分かります。しかも、武蔵国で安定した市場価値をもっていた忍米は、当時のブランド米として流通していたといえるでしょう。

ところで、全国のお米を番付にした嘉永4(1851)年の「諸国豊作一覽」(郷土博物館蔵)をみると、「武州忍蔵米」は前頭であるのに対し、「勢州忍領米」はそれよりも上位の大関にランク付けされています。江戸時代後期の忍藩には、伊勢国桑名にも分領があったため、そこで収穫されたお米も、ともに上質な忍米として流通していたのです。(郷土博物館 澤村怜蕙)

私の作品

俳句

- 富士見町 江利川敏夫
水温む大公望の指定席
城西 榊原しずか
廃校の長さ廊下や春の闇
緑町 松林 真弓
生も死も仏の慈悲やミモザ咲く
小見 川島 盾子
退院日泰山木の影歩く
持田 小倉 繁三
彼岸寒へら鮎釣りのみな寡黙
富士見町 鈴木スイ子
機関車のお色直しや風光る
荒木 高澤よね子
利根渡り七十年や黄水仙
持田 二瓶 弘子
水温む無沙汰の友のラインあり
荒木 藤田栄之
春耕や深き土にも心にも
(三沢 一水 選)

